

旧上味見小で自然体験 美山に感謝 18人修了式

五年前に廃校となった見小で11日、自然体験「学校」の修了式が行われ、同校を拠点に一年を



修了証書を手渡されるふくい森の子自然学校の子供—
11日、福井市中手町の旧上味見小

通じて美山の自然に触れてきた子供たちが修了証書を受け取り、地域住民との交流に感謝した。同自然学校は、特定非営利活動(NPO)法人・自然体験共学センターが昨年二月、旧上味見小の建物を利用した上味見生涯教育施設を拠点にスタート。四季を通じて日帰り体験学習や長短期の合宿を行い、延べ約千人の小中学生が地域住民と交流しながら農作物づくりなどに取り組んだ。一年の活動を終え、活動に協力してきた住民から「美山の良さを学んだ子供たちの修了式を聞いてほしい」と声が上がり、年間を通じて参加した福

井、鯖江、大野市の小中学生十八人に修了証書を手渡すことにした。ピアノ演奏で「蛍の光」が流れる中、子供たちが体育館に入場。梅田秀彦校長が「皆さんはこの自然学校を通して自分で考え、行動できる力が付いた」とあいさつ。合宿などの思い出の写真が入ったB5判の修了証書を一人一人に手渡した。修了生を代表して川田歩美さん(大野市上庄小三年)が「上味見のおじいちゃん、おばあちゃんたちのおかげでいろんな体験ができた」とあいさつ。地元住民十人にお礼のチューリップを贈った。

<ふくい森の子自然学校 活動の紹介>

NPO 法人自然体験共学センターが2005年2月に旧美山町上味見地区(現福井市)の旧上味見小学校に、「ふくい森の子自然学校」をスタートさせてから一年が経過しました。

春休み期間にまず最初の活動であった「森の子春合宿」(参加者88名)を皮切りに、春・秋の日帰り・1泊の活動、夏休みの森の子キャンプ、通年型の活動、自然体験活動リーダー講座などに取り組んでまいりました。この間、上味見の四季折々(春・夏・秋・冬)の活動を体験した子ども達はのべ約1,000名にのぼります。

「2001年3月に廃校となった上味見で学校の修了式・卒業式が絶えて久しいが、自然学校で上味見の四季の自然を体験した子ども達の修了式をやってはどうか」と地域の方からのご提案を受けて、3月11日(土)に【2005年度ふくい森の子自然学校修了式】を行いました。その修了式が福井新聞、日刊県民福井等に掲載されました。